

TRIAL

2016 WORLD CHAMPIONSHIP ROUND 2



STRIDER
Running Bike

Grand Prix of Japan



ツインリンクもてぎ イベントレポート



公式B2ポスター

【イベント概要】

- イベント名称：2016 FIM トライアル世界選手権 第2戦
ストライダー日本グランプリ
- 日 程：2016年4月23日(土)・24日(日)
- 主 催：一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
株式会社モビリティランド
- 公 認：国際モーターサイクリズム連盟 (FIM)
- 後 援：文部科学省、観光庁、栃木県、茂木町
- 冠 協 賛：ストライダージャパン
- 協 力：MFJ加盟団体 関東モーターサイクルスポーツ協会
エムオースポーツクラブ (M.O.S.C.)
- 会 場：ツインリンクもてぎ ハローウッズエリア
- 天 候・動 員：4月23日(土) 晴れ 21.0℃ 6,500人
24日(日) 薄曇り 19.4℃ 8,000人

※気象状況は各日とも宇都宮地方気象台15:00発表
[2015年度実績]

4月25日(土) 晴れ 19.2℃ 7,000人
26日(日) 快晴 23.2℃ 11,000人

【メディア概要】

- 取 材 者 数：32媒体46名
- 公 式 サイト：ツインリンクもてぎ公式ウェブサイト <http://www.twinring.jp/>



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

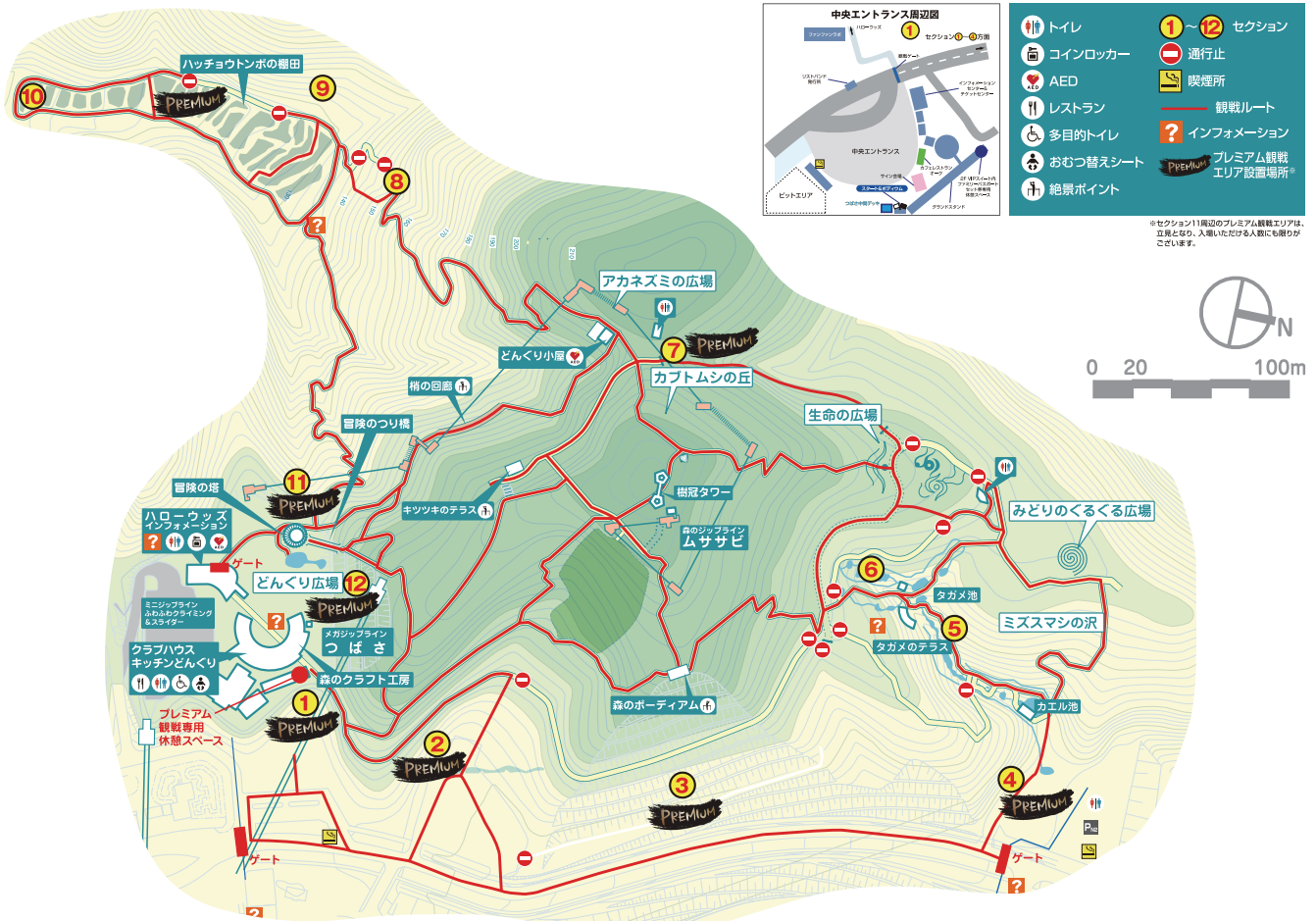
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

NO.45 KOWA BUILDING 9F, 1-15-9 MINAMI-AOYAMA, MINATO-KU, TOKYO 107-0062, JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

ハローウッズの森を舞台に全12セクションがレイアウトされました。新セクションが集中したエリア「ハッチョウトンボの棚田」など新たなみどころも加わり、ツインリンクもてぎならではの豊かな自然と利便性がアップした観戦環境をお楽しみいただきました。



<セクションガイド>

- 1** セクションイン早々に始まる連続ステアケースと、中盤以降での野趣あふれるロックスセクションで構成。その石は迎賓館に使われていることでも有名な真壁御影石。トラクションは良く、フロントアップ系、左右トランスファー系の技が見られる可能性大。
- 2** スロープのアップダウンからエッジの無い連続ロックス、更に連続ステップスへと展開。ロックスのライン取り、終盤の真直角ステップへの飛びつきなどハイレベルな技術が要求される。
- 3** 日本GP名物の大岩盤セクションが、今年は日本GP史上最大の高低差に進化した。一番下から頂上まで150mの岩壁を一気に駆け上がる。一段目は滑りやすいウッズ、二段目三段目は絶壁から終盤のカレ場へと変化。大迫力間違いなし。
- 4** セクションイン一つ目の10t以上ある巨石を乗り越えながら、フロントアップで2つ目の巨石にトランスファー。さらに滑る岩盤へとスーパーテクニックが連続で繰り出される難易度maxセクション。
- 5** ミズスマシの沢を横切るように走るので、マディコンディションになり易く、とても滑りやすくなるために難易度は高い。一見穏やかな風景ながら滑りやすいセクションで、一瞬たりとも気は抜けない。
- 6** ミズスマシの沢の最上部に位置し、石組みの滝を登る難易度セクション。滑りやすい岩の上を思い通りに走行ライトレースできるかがポイント。世界を戦うトップライダーたちにとっては、まさに腕の見せどころのセクションだ。
- 7** 新設されたアカネズミの丘へのアプローチ上部に位置するバックヤードエリア。地元栃木県産の石で組んだモダン枯山水様式のセクション。大谷石の石柱や枯れ滝をどのように走破していくか注目だ。
- 8** ここも新設となるセクション。自然の石が斜面を覆う、まさに本場イギリスのセクションを彷彿とさせる。斜面の石は崩れやすく、走るたびに難易度が増していく。
- 9** ツインリンクもてぎの秘境「ハッチョウトンボの棚田」に作られた新設セクション。まさに日本の原風景を世界のトップライダーが走る姿は必見であり、写真を撮るにも絶好のロケーションだ。
- 10** 棚田下のダム湖から崖のような斜面をクライミング、終盤には岩盤の露出した崩れ易い滝を登る難関の新セクション。入り口は上り斜面でのターンになるので加速が難しく、上部が垂直の段差になっている。
- 11** 第7セクションから続く新設セクションの最後がここで、ハローウッズ前の庭から沢に落ち込む崖を下から登るヒルクライムセクション。グリップ感を得ながら進んでくるエンジン音やライダーの走りに注目だ。
- 12** 日本GP恒例のハローウッズ名物滝登り。最後の岩のステップを乗り越える際には大きなボディアクションが必須となる。滑りやすい岩を相手にタイヤのコンディションにも気を遣わなければならない。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

NO.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

プロモーションダイジェスト

【プレスリリース】



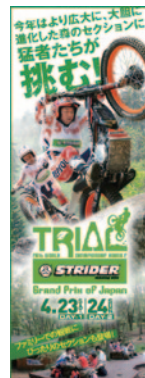
3月25日(金)配信

【「月刊ローソンチケット」広告出稿】



発行:3/15号、4/15号
発行部数:各号100万部

【WEB】



Car Watchバナー広告

レスポンス 記事(3/28、4/18、20)
Car Watch バナー広告(4/11～17)
ツインリンクもてぎ Facebookでの話題提供
(随時、4/13～22)

【折込チラシ】



TRM Press

4月21日(木)折込
栃木・茨城エリア(62万部)

【テレビ】

「週刊バイクTV」(4/1)告知
BS11「モトライズ」(4/6、13、20)30秒CM
テレビ神奈川「Ride & Life」(4/9)30秒CM
とちぎテレビ「コチラdeダンス」(4/15、22)告知

【ラジオ】

NACK 5 20秒CM
FMぐんま「aokiモーターステーション」(4/14) チケットプレゼント
エフエム栃木「B-UP FRIDAY “FUN! TIME”」内(2/12、19、26、3/4、11、4/8、15、22)告知

【イベント】

東京モーターサイクルショー(3/25～27)
モータースポーツジャパン2016(4/16～17)

【トライアル日本GP Hondaファンミーティング】

本大会にさきがけ、4月20日(水)に本田技研工業株式会社のHondaウエルカムプラザ青山にてプロモーションイベント「トライアル日本GP Hondaファンミーティング」が開催されました。Repsol Honda Teamのトニー・ボウ選手、藤波貴久選手、ハイメ・ブスト選手、そして全日本トライアル選手権国際A級スーパークラス3連覇中の小川友幸選手の豪華メンバーが出席。トークショー、ライダー握手会、フォトセッションなどが行われ、大会をアピールしました。また、ストライダージャパン代表/株式会社豆魚雷代表取締役社長 岡島和嗣様より、「ストライダー ホンダモデル」(写真右)発売決定が発表されました。



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

NO.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

イベント&プロモーションシーン1

ストライダー エンジョイカップ

今年の日本グランプリは、昨年引き続きストライダージャパン様に冠スポンサーとしてご協賛いただき、「ストライダー日本グランプリ」と銘打ち開催されました。2歳から乗れるランニングバイクとして人気を博している「ストライダー」。2歳から6歳(未就学児)のお子様にご参加いただけるストライダーのレース「ストライダーエンジョイカップ」を中心に、イベント盛りだくさんの「ストライダーサンクスデー」が開催されました。



ストライダージャパン公認レース「ストライダーエンジョイカップ」。頂点をめざして700台以上のエントリーを集め、年齢別に熱い戦いが繰り広げられました。



難コースにチャレンジできる「巨大! ストライダー アドベンチャーゾーン」。



アップダウンとコーナーが組み合わされた全長37mのストライダー専用のパンプコース「ストライダー パンプアタック&パンプジャム」。



ストライダーの次は自転車に挑戦! 自転車のプロライダーが3つのクラスでテクニックを直伝した「熱血! 自転車道場」。



限定グッズも盛りだくさん! 感謝の気持ちを込めて賞品が大放出された「ストライダー サンクスデー大抽選会」。



藤波選手らがまとうレプソルカラーの特別モデルが抽選でプレゼントされました。



フジガス300戦応援企画として、エンジョイカップ参加者と一般のストライダーキッズあわせて1,000名に「Honda×STRIDER」オリジナルキッズマントがプレゼントされました。



ストライダージャパン代表/株式会社豆魚雷 代表取締役社長 岡島和嗣様に表彰式のプレゼンターをつとめていただきました。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

NO.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

イベント&プロモーションシーン2



ワークスマシンから入門モデルまで、トライアル、MotoGP™ などオフ&オンのレーシングマシンの展示・搭乗体験が行われたHondaブース(セクション入場ゲート手前)。



大観衆のパネルを前にトップライダー気分が味わえる「なりきりトライアルライダー」(中央エントランス)。
【本田技研工業株式会社様】



中央エントランス内に設置された特設ピットエリアを開放、ツインリングもてぎ初開催となるピットウォークを実施しました。



DAY1終了後に実施されたライダーサイン会。多くのファンが長蛇の列を作りました(中央エントランス)。



プロライダー・小林直樹選手による解説付きトライアルツアー。マシンの解説や競技観戦しながらのレシーバーによる解説など、初心者の方にもわかりやすくお楽しみいただきました。



DAY1でGP参戦200戦目を迎えたジェロニ・ファハルド選手(スペイン)。表彰式終了後、元世界チャンピオンであるティエリー・ミショー審査委員長より記念の盾が贈られました。

PICK UP 1

女性ライダー限定のMoto Girls Livikaのトライアルミーティング。スタート会場間近での観戦や解説付きツアー、そしてVIPスイートでのスイーツもお楽しみいただきました。



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

NO.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

イベント&プロモーションシーン3



親子でバイクの乗り方と楽しさを体験いただいた「親子バイク体験」。ファミリーの歓声があふれていました(中央エントランス モビパーク前)。



電動バイクを用いた「子ども向け電動バイク教室」。親子で楽しみながら、新感覚の走りを味わっていただきました(中央エントランス モビパーク前)。

PICK UP 2

ツインリングもてぎでのトライアルは、豊かな自然の中にあって、その設備の充実ぶりや観戦エリアなど環境の素晴らしさも特筆されます。



舗装された観戦席が多く用意されています(写真は第2セクション)。セクション最前列には椅子付きのプレミアム観戦席を設置。



第9セクション周辺に設置されているベンチ。セクション移動の疲れを癒しながらの観戦が可能です。

PICK UP 3

今大会DAY2で世界選手権参戦300戦を達成した藤波貴久選手。その偉業を称えてさまざまな企画やイベントが実施されました。



歴代の藤波選手のマシンを揃えた特別展示「～藤波 貴久(フジガス)選手300戦の軌跡～」(4月25日(月)まで ホンダコレクションホール)。



特別展示に併設されたトライアルマシンにまたがるフォトコーナー(4月25日(月)まで ホンダコレクションホール)。



DAY2表彰式終了後に行われた記念セレモニー。チームメイト、スタッフ、そしてお父様も登壇しての華やかなひとときとなりました。



DAY2全スケジュール終了後、ホンダコレクションホールで行われたスペシャルトークショー。300戦を振り返ってのエピソードを語っていただきました。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

NO.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【冠ご協賛社】



ストライダージャパン

【PRブースご出展社】



本田技研工業株式会社
株式会社ホンダ・レーシング

【オフィシャルプログラムご協賛各社】



A4 カラー 24p 9,000部発行 ※無料で配布いたしました

株式会社ウィック・ビジュアル・ビューロウ
国際モーターサイクリズム連盟 (FIM)
ストライダージャパン

住友ゴム工業株式会社
本田技研工業株式会社

株式会社ホンダモーターサイクルジャパン
ヤマハ発動機販売株式会社

【セクションパナーご掲出社】



ストライダージャパン

株式会社パレスコンストラクション

【場内のぼり掲出社】



ストライダージャパン

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

NO.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2016年4月1日現在